

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう総社

公表日 2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・運動室が2部屋あるため、小集団の活動も取り組んでいる。	自由時間の過ごすスペースを工夫していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・現状維持していく。	現状を維持しつつ、必要に応じて改善も検討していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・とても広い空間を活かし、活動ごとに場所移動を行い見通しの立ちやすい環境にできている。	足の手術をした子など、歩行に配慮が必要な子どもに対して、現状は階段の手すりのみがバリアフリー環境となっている。現在は個別対応を行っているが、今後は環境整備を進めていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日必ず次亜塩素酸での消毒を実施して清潔な環境を保っている。	車内清掃の機会を増やせるよう、清掃項目を検討していく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・広い施設を活かしてクールダウンも含めて一人になれる環境が整っている。	職員とマンツーマンの時間を確保していく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・毎朝の振り返りの時間を活用しチームで支援が成立するよう努めている。	パートタイム職員への情報共有のシステムを検討していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・評価表の内容を職員全員で把握し、話し合いの機会を設けている。	評価表に不明点があると教えて頂いたご意見に真摯に対応していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員全員で話し、常に情報共有できる体制にある。	話をしやすい時間の確保をしていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		外部の方から意見をいただく機会は貴重であるため、職員が話を聞ける体制を整えたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・社内研修以外にも社協やリタリコの研修を積極的に申し込み学びの機会を確保している。	様々な視点の研修を受けていけるように積極的に情報収集を行っていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・ホームページにて公表している。	保護者へ声掛けを実施し、周知していただく。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・半年ごとのモニタリングを適切なタイミングで実施し、計画書を作成している。	モニタリングの内容を職員で深く理解し広い意見が集まるように聞き取りも丁寧に実施していきたい。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・モニタリング時の内容を児童発達支援管理責任者が職員に共有し、常に本人やご家族に寄り添える体制になっている。	職員によって理解の程度の相違があるがあるため、疑問点を聞けるように日頃の連携を丁寧にやっていく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・共有する機会を確保し、日々の支援の質を向上するように努めている。	職員間での共有の機会を増やしていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・日々の振り返りを記録に残し、ご家族や本人の現状を正確に把握し計画書やアセスメントに反映させるように努めている。	今後も丁寧に課題把握を実施し、支援を行っていく。また個人の記録のファイルに丁寧に情報が整理されていけるように管理者と児童発達支援管理責任者が中心となり、管理していく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・ミーティングやその都度集まる支援についての情報を管理者と児童発達支援管理責任者が知り、その情報をもとに具体的な支援をチームとして構築している。 ・個々の希望や意思が反映された支援になるように日々積み重ねている。	今後も丁寧に課題把握を実施し、支援を行っていく。また個人の記録のファイルに丁寧に情報が整理されていけるように管理者と児童発達支援管理責任者が中心となり、管理していく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・職員で立案や共有をしている。	今後も実施していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・職員全員で相談や立案を行い、年齢や状況に合わせた活動プログラムになるように工夫をしている。	今後も新しい活動プログラムを増やしていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・小集団や個人の対応時間も確保し、個別課題へのアプローチの方法を複数計画している。 ・職員の情報共有をもとに計画書に反映もしている。	今後も継続して努めていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・日々の振り返りの時間の中で前日の子どもの表情や発言、気づいた課題などの様子を共有し、次の支援に活かせるよう徹底している。 ・パートタイマーの方への共有も時間を決めて実施している。	今後も継続して努めていく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	0	・当日の打ち合わせは送迎時間の後になるため、気づきなどは短時間で実施している。 ・翌日の振り返りの時間を大切にすることで漏れないように配慮している。 ・保護者様へお電話など早急にご連絡が必要な場合は即座に対応している。	当日の気づきについては管理者への報告までは実施している。今後も丁寧に把握し、適切なタイミングで対応していく。
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・翌日の振り返りの内容も含めてケース記録として残している。	今後は記録作業を担当にし、全職員が把握していけるように検討していく。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・モニタリングのタイミングや内容の確認を管理者と行うことでミスなく実施している。	今後も丁寧に対応していく。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・ガイドラインを確認しながら支援を組み立てている。	職員が意識して取り組めるように更に工夫をしていく。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・その都度考えを聞き取り支援と組み合わせながら工夫をして育てている。	支援側の職員の意見に誘導しそうな場面では、お互いにフォローをし合い調整していけるように意識していく。	
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・管理者や児童発達支援管理責任者が会議に参加していくことで丁寧な対応を行っている。 ・事前の会議資料の作成時には職員の意見も反映している。	専門職の職員が会議に出席する機会を設定していけるよう検討していく。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・随時主治医や学校との連携を行っている。 ・子どもやご家族の為に良い関係性を構築できるように気を付けている。	関係機関との連携の時間と支援の時間が重なるため時間の確保を工夫していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・必要に応じて対応している。	下校時間などは保護者様と直接共有しているため現在はほとんど学校に連絡をする機会がないが、必要な場合（怪我など）は丁寧に聞き取りを実施していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・必要に応じて実施している。	今後も対応していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・卒業後も含めて春はケース会議などの場に参加もしている。 ・イベントなどで話が出来た時は様子を聞き情報共有をしている。	本人やご家族の意向に沿って実施していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	・管理者が会議等で連携している。その内容も共有している。	管理者以外はそのような機会がなかったため今後設定していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	1	・専門的視点でのアドバイスを求められた時に訪問している。	積極的な交流には至っていないため、公園や公共施設でのマナーの学習も含めて実施していく。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	7	0	・管理者は全てに参加している。	管理者以外も参加する機会を設けていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・ご家族の日々の困りごとなどの聞き取りは送迎時や電話などを中心に行い、子どもの気持ちの表出については話しやすい環境を整備している。	子どもの目の前で課題の話ばかりにならないように、配慮と工夫を実施していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・研修のご案内や個別対応で実施している。	ご家族の参加できるプログラムを今後計画していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に全て説明している。	契約時以外でも疑問点がないかの確認を検討していく。
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・モニタリングやアセスメントの際に計画書に盛り込み、実際の支援の場においても配慮できるように職員間での情報共有を行っている。	聞き取り方法や場所の配慮など、さらに工夫をしていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・計画書の内容の説明と確認を実施し、保護者に同意を頂いている。	本人への確認の機会や時間を増やしていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・詳細な様子や状況などの情報を管理者に集約し、安定した相談や連携ができるように取り組んでいる。	平日の午前中の時間も活用し、より丁寧な助言や支援につながるように取り組んでいく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	・全員が集まるような企画はできていないため、個別のケースでの対応が中心で実施している。	今後は参観日などの企画をしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・管理者が情報を集約し対応できるように、日頃から職員間の人間関係を構築している。 ・謝罪や変更対応が必要なケースは必ず管理者が迅速に対応している。	些細なことも連携し合えるように環境整備をしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月お便りを発行、配布し支援の内容も含めご家族や子どもに共有している。	HPやブログのアピールに工夫をしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・気を付けている。	今後も気を付けていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・見通しのたてやすい環境や言葉遣いを意識し、伝えたいことが円滑に伝わるような状況になるように努めている。	職員の受け止め方の誤解がある場合などに丁寧に説明を行い、一貫性を持てるように工夫をしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・事業所の敷地の清掃時などに近隣の方にご挨拶などを行っている。	まだイベントは実施したことはないため、検討していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・毎年夏休み期間に全員参加型の避難訓練を6日連続で実施している。	避難訓練の内容をより具体的にご家族に共有し、有事の際の不安軽減につながるようにしていく。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・避難袋の中身の確認を定期的に行い、職員で共有している。	避難訓練の時により丁寧な説明を実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・食事やおやつ時の配慮や送迎時の酸素濃度計器の持参などを実施している。	情報の更新が一年に一回の子もいるため、症状が落ち着いている場合でもより丁寧な状況の確認を行っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・保護者の方や本人と確認を行い配慮している。また調理実習の場合は材料を事前に提起し排除の有無も確認している。	今後も丁寧に配慮していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・有事の際に機能する外部機関に消火器や避難灯などの確認してもらっている。	避難訓練の計画書の熟読と役割の把握をより丁寧に実施していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・避難訓練時や契約時などにご案内している。	送迎時などのトラブルを含めて今後も丁寧に配慮していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットが起きた時に職員間で随時共有し、記録に残している。	段差や階段などに目印を追加するなどの対策を追加していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	毎年必ず全職員が研修を受け、徹底している。	自立支援協議会などの研修にも参加していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・契約時に説明しているが、現状は事例がない。	お子様の安全を第一に考え対応できるような事例をもとに研修をしていく。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>今年度の保護者様からいただいた回答の中にとてもたくさんの「ありがとう」や「楽しみ」や「満足」の言葉をいただき、職員一同、より一層質の高い支援をお届けしていきたいと気を引き締めさせていただきました。今年度より専門性にも特化した支援を提供させていただいております。個別でも小集団でも専門的な資格を持つ職員が事前に作成した計画書に沿い、一人一人の課題に向き合う時間となりました。思春期の年代の子も多く、個別で感情の聞き取りを行う機会も増え、人間関係の構築しやすい事業所になってきているかと思えます。また逆に「保護者会」や「地域の交流」などの開催要望も複数いただきました。真摯に受け止め今後はよりご満足していただけるような活動プログラムを企画してまいります。子どもたちが楽しく安心できる居場所であり、読みにくい「空気感」をゆっくり理解していける場となるよう一層の努力を続けてまいります。今後ともよろしくお願いたします</p>						